



坂田城址から望むふれあい坂田池公園

明るく

14.5%

一般質問

町の将来を見据え活発な論議

選挙啓発活動

問 国や県の選挙における投票率の低下傾向が問題となつていますが、町では3月14日に執行される千葉県知事選挙に向けてどのような啓発活動を行うのか。

答 町選挙管理委員会では、今回の知事選挙の投票率の向上を図るため『千葉県知事選挙横芝町特別啓発要領』を定め各種の啓発活動を実施する。主なものとしては、特別推進員15名による戸別啓発や街頭活動をはじめ事業所啓発、各種会議などでの投票の呼びかけ、町行政無線の活用、ポスターやチラシの配布、広報車の活用などを行う。

町民との対話

問 「これからの我がまちを語る会」は今後も行っていくのか。開催する場合時期はいつ頃になるのか。

答 昨年の2月と5月にこの会を開催させていただき様々な分野で貴重なご意見を頂戴した。今後も開かれた町政を推進するうえで、町民との対話は大切な

ものと考えているので続けていきたい。

第3回目を近々前回と同じメンバーで開催する予定である。

新年度予算編成

問 ①バブル崩壊により景気の低迷が続くなか、国や県においては景気対策を最重点におき、単独事業を積極的に取り入れた新年度予算を計上し、この非常事態を乗り切ろうとしている。このような財政的環境行政の中、町の新年度予算はどのような基本的考えで編成されたのか。②また、どのような事業展開を進めていくのか。



駐車場などが整備された駅前広場

答 ①景気の衰退により非常に厳しい財政状況ではあるが、基本構想に基づく諸計画の推進を図るため、積極的に財源の投入を行い、21世紀に向けてのまちづくりをすべく前年度対比14.5%増の積極型予算の編成に努めた。②第2次5箇年計画の2年目となる平成5年度は、40%の進捗よく率を目標に27億5500万円の事業費予算を計上させていただき、スポーツ広場の整備をはじめ、平和公園・駅前広場・道路網の整備、そしてまた、医療・福祉・教育の充実や産業の振興などを図り、明るく住みよいまちづくりを目指し積極的に各種事業を推進していく方針である。

町民の健康づくり

問 健康は守る時代から自分でつくる時代となったと言われているが、そのための指導や資料の提供などは町がサポートしていく必要があると考える。①そこで、町民の健康を守るための医療検査行為にはどのようなものがあるのか伺いたい。②また、

人間ドックを受ける場合、東病院と指定されているが利用者はどの程度あるのか。



毎年実施されている住民検診

答 ①現在町では、住民検診をはじめ胃がん検診、肺がん検診、大腸がん検診、子宮がん検診、乳がん検診を実施し早期発見に努め、町民の健康づくりの推進を図っている。またこの他に健康相談や健康教育なども行っている。②最近の利用者数は、平成2年が34人、3年が24人、4年は現在のところ40人で、5年度は70人を見込んでいます。指定病院については、増やす方向で検討している。検査を受ける方